

インタビュー

安原尚美

社会福祉士の安原尚美と言います。(旧姓は保田と言います)

大学を卒業してから、津山市の在宅介護支援センター、地域包括支援センターで勤務し、今年の4月からは真庭市役所の臨時職員として、地域包括支援センターで勤務しています。

私の社会福祉士を目指したきっかけは、祖父の役に立ちたいという思いでした。祖父は在宅生活を希望していましたが、施設に入所、最期は病院で迎えました。

大学に行く目的も見失っていた中、実習で在宅介護支援センターへ行きました。そこで在宅で暮らしたい高齢者のために、制度や社会資源を活用して高齢者の生活を支える職員さんに出会うことができました。

実習を終えてからは、日に日に在宅で暮らしたい高齢者の思いを実現する手助けがしたいと思うようになり、必死に勉強をして社会福祉士の資格を取り、卒業と同時に在宅介護支援センターに就職しました。

あれから10年、数多くの高齢者に出会いました。元気な方、虚弱な方、ターミナルの方など、色々な方と出会いの中で、目の前にいる高齢者がどんな風な生活を送りたいのか、どんな最期を迎えたいと思っているのか、その思いを実現するために、どんな制度が使えるのか、社会資源は何が必要か、私にできることは何かを考えて動くようになりました。また、援助者側の価値観を押し付けるのではなく、対象者に寄り添い、対象者の思いや力を引き出していかに援助していくか、そのために相談面接技術がいかに大切なのか日々感じながら仕事をしています。

資格を取ってからがスタートだと言われた意味が、今になり身にしみえています。

転勤族の夫と結婚したので、1つの地域に根ざして働くことはできませんが、どこであってもその地域に住む高齢者の方の人生の最期が悔いなく送れるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。



◇ワンコイン研修会報告◇



テーマ：「心根深くまで、知りあっていきませんか
～精神障がいがある人とのコミュニケーション～」

講師：NPO法人 岡山マインド「こころ」 多田 伸志氏

10月25日、岡山県総合福祉会館にて、講師に多田 伸志氏をお迎えし、上記のテーマで研修会を行いました。

参加者は、精神障がいやその他の障がいを持つ人・児童・高齢者など様々な相手を対象として、医療・福祉に関わるメンバー10数名でした。それぞれが、日頃の関わりの中で、よりよいコミュニケーションを実践していきたいといった思いを持って参加していました。

研修では、多田氏が代表するNPO法人岡山マインド「こころ」ができた当初のことや活動を含めて、当事者の方々の写真を見ながらお話していただきました。その中で、改めて自身の構え方が鏡となって相手に現れること、一人ひとり異なった人間同士の関わりという意識こそが大切であることが見えてきました。また、講師と参加者との積極的な対話から、福祉に携わる我々に今後できることを考えさせられる研修となりました。



◆◆◆◆◆ ご案内 ◆◆◆◆◆

今回、講師を務めて頂いた多田氏が代表を務めるNPO法人のホームページには日頃の活動について掲載されていますので是非ご覧ください。

<http://mindkokoro.web.fc2.com/>



平成26年度岡山県障害者権利擁護セミナー開催

虐待のない、^まちともに暮らせる岡山をめざして

と き 平成26年11月16日 (日)
 と ころ サンピーチOKAYAMA

障害者虐待の予防と虐待への適切な対応を図るため、昨年度に引き続き「障害者権利擁護セミナー」を開催しました。このセミナーは本会が岡山県から受託している岡山県障害者権利擁護センター業務の一環として実施したもので、会場には県内各地から160人を超える県民が集まり、熱心に聞き入っていました。

セミナーではまず、NHK-Eテレで放送中の「障害者情報バラエティ・バリバラ」にレギュラー出演中の玉木幸則さんが、ご自身の経験から障害者が地域の中で暮らす上での課題や、地域社会に対する疑問点等を、関西弁を交えて熱く語られました。

* * *

その後のシンポジウムでは、中井俊雄運営委員長をコーディネーターに、地域で実際に障害者虐待の予防や対応にあたられている河本佳枝さんが日頃の相談支援活動を通して感じていることを述べられました。また、岡本健介さんは障害者支援現場の様子と課題を率直に語り、これらに玉木幸則さんのスルドイご意見を交えながら、虐待のない、ともに暮らせる岡山を実現するためには住民や地域社会、さらに福祉関係者が何に気づき、どのように行動すべきかを議論しました。

参加者からもたいへんな好反響をいただき、会場全体が熱気に包まれたまま幕を閉じました。



●● プログラム ●●

*講演 (13:45 ~ 14:45)

「ただ、ふつうに地域で暮らしていきたいだけ」

・西宮市社会福祉協議会
 障害者総合相談支援センターにしのみや
 所長 玉木幸則さん

*シンポジウム (15:00 ~ 16:30)

「虐待のない、ともに暮らせる岡山をめざして」

・西宮市社会福祉協議会
 障害者総合相談支援センターにしのみや
 所長 玉木幸則さん
 ・岡山県視覚障害者協会岡星寮
 生活支援員 岡本健介さん
 ・ひまわりの会相談支援センターひまわり
 管理者・相談支援専門員 河本佳枝さん
 ・岡山県社会福祉士会・岡山県障害者権利
 擁護センター 中井俊雄 運営委員長

VOICE

- 障害者は特別な存在ではないことに気づかされました。「障害」に目を向けるのではなく、その人の「生きづらさ」へ視線を向け支援していくべきことに気づきました。
- 「不適切なケアを変えていく仕組みが障害者虐待防止法だ」とする玉木さんの言葉が印象的でした。
- 玉木さんの「虐待って、実は犯罪行為でしょ。重大なことですよ」という一言が今も印象に残っています。

組織強化委員会からのお知らせ 平成 26 年度ワンコイン研修第 3 弾

ワンコイン研修会のご案内

【テーマ】「改正！介護保険法」（仮）

【講師】岡山県社会福祉士会会長 中田 雅章 氏



【日 時】平成27年1月17日（土）午後14時00分から
（13：30～受付）

【会 場】津山市総合福祉会館

【参加費】 会員・準会員 500円
非会員 3,000円



※2月に同じ内容の研修を岡山県総合福祉会館で実施予定です。

* お問い合わせ・お申込み *

一般社団法人 岡山県社会福祉士会 組織強化委員会

Mail : office@csw-okayama.org

Fax : 086-201-5340 Tel : 086-201-5253

（開局：月～金 10:00～16:00）

※氏名、会員・準会員・非会員の別、連絡の取れる連絡先を記載の上、お申し込みください。

〈スクールソーシャルワーカー募集のお知らせ〉

岡山県教育委員会では、来年度のスクールソーシャルワーカーの募集を行っています。ご興味のある方は、本会ホームページに掲載していますチラシをご覧ください。また、直接、岡山県教育委員会へエントリーしてください。また、スクールソーシャルパートナーの募集も合わせて行っていますので、お知り合いでご興味のある方がいらっしゃいましたらお声かけいただければと思います。

連絡先

岡山県教育庁義務教育課生徒指導推進室 担当 川原様・大重様

TEL : 086-226-7589 (直通)

※本会事務局では本件についての問い合わせは受け付けておりませんので、直接上記窓口へお問い合わせください。